

都市部における無電柱化の推進に関する計画（無電柱化推進計画支援）

群馬県の現状

群馬県では、災害時における道路ネットワークの信頼性向上を目的として、緊急輸送道路全線の無電柱化を目指している。

県民の声

- ・災害時に道を塞がないようにしてほしい
- ・すっきりとした景観にしてほしい
- ・車道の幅が狭いので広くしてほしい
- ・通学児童や歩行者が危険にさらされないように歩道を設置してほしい

課題

災害時の円滑な救援活動のため、電柱倒壊による道路閉塞影響を勘案した基盤整備を推進する必要がある。

目的

都市部において、無電柱化を進めることにより、災害に強い街づくりに寄与する。

事業の指標

指標：都市部における道路の無電柱化を進め、県内地方道の無電柱化道路延長を74km(H30)から75km(R5)に延伸する。

成果と達成度報告

指標：都市部における道路の無電柱化を進め、県内地方道の無電柱化道路延長を74km(H30)から75km(R5)に延伸する。

現況：74km(H30) ⇒ 最終目標：75km(R5)
⇒ 最終実績：75km(R4)

3路線（本町線、競馬場通り線、馬見塚芝宮線）が完成し、目標を達成した。

※本整備計画の予算執行は令和元年度のみ（以降、補助事業（令和2年度～）に移行して実施）

今後の方針

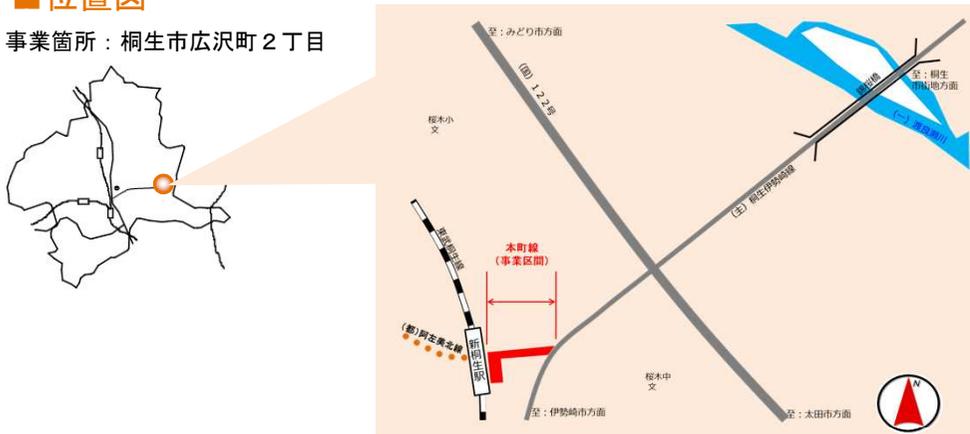
中央通り線・南北中央幹線については、無電柱化推進計画補助事業に移行し、引き続き無電柱化を推進していく。

整備効果事例

事例①（都）本町線

■位置図

事業箇所：桐生市広沢町2丁目



■整備効果

整備前



沿道に電柱が設置されており、地震による倒壊等、災害時の通行の支障となることが懸念される。

整備後

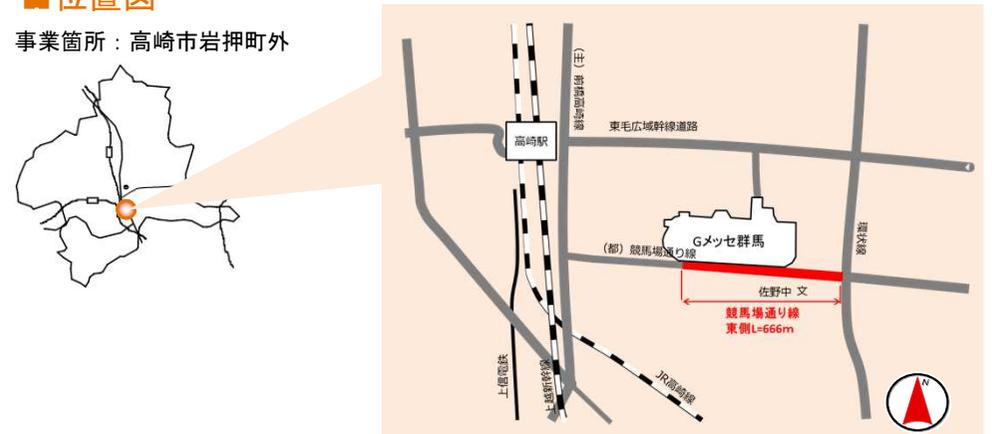


電線類の地中化、歩道及び自転車通行空間整備により、防災性・交通安全性が向上した。

事例②（都）競馬場通り線

■位置図

事業箇所：高崎市岩押町外



■整備効果

整備前



狭小な歩道内に電柱が設置されており、地震による倒壊等、災害時の通行の支障となることが懸念される。

整備後



電線類の地中化及び歩道整備により、防災性・交通安全性が向上した。